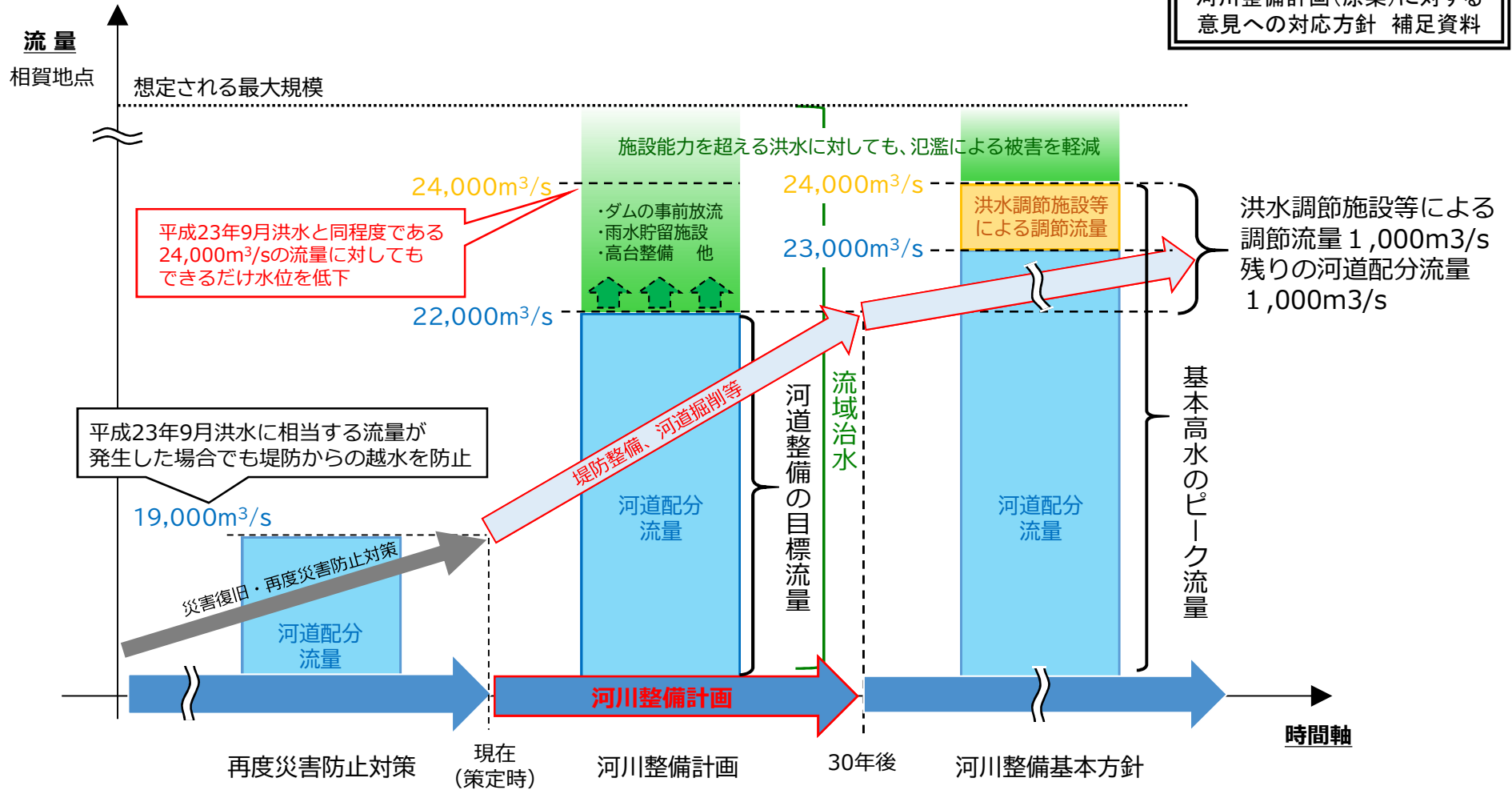



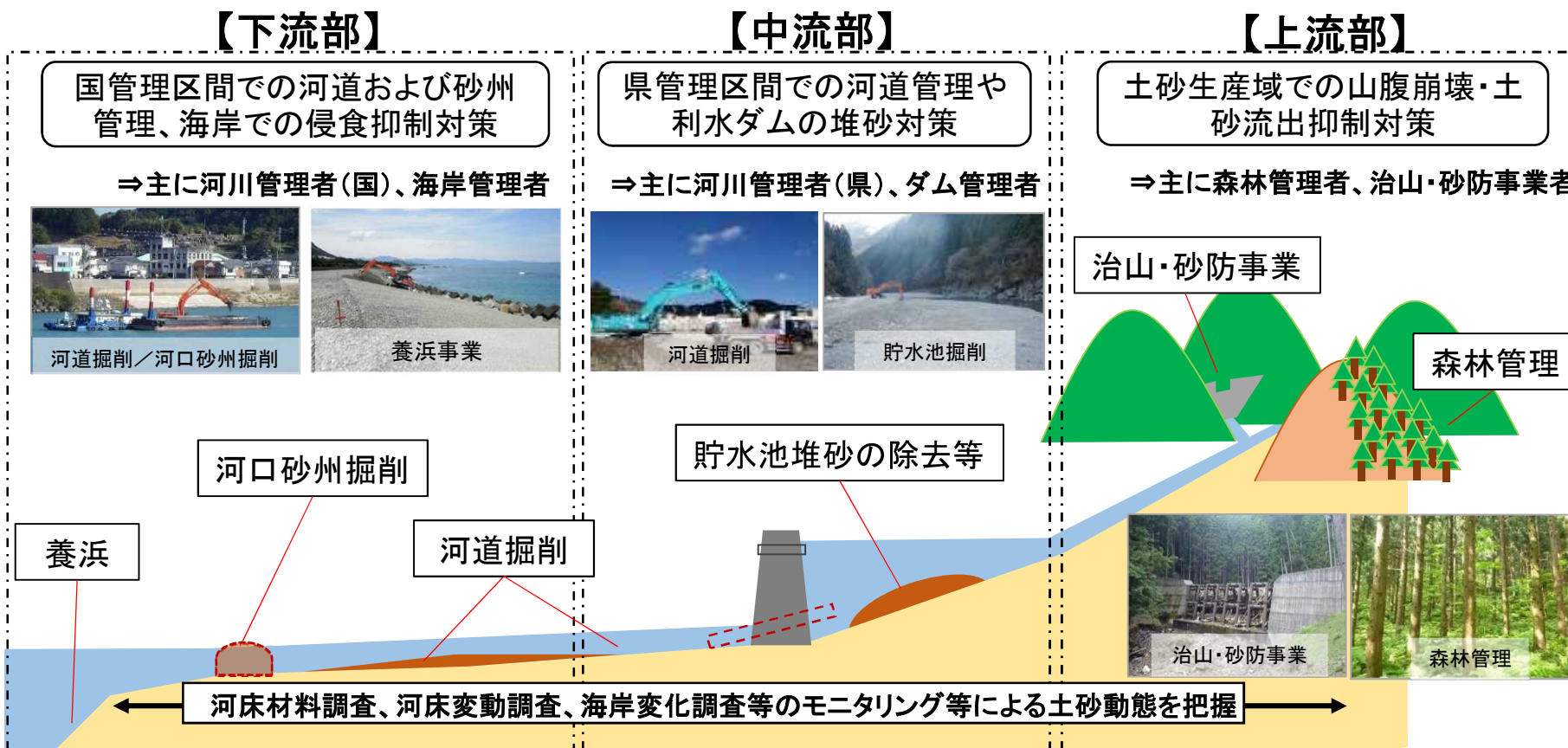


新宮川水系河川整備基本方針の目標に向けた段階的整備の記載について

参考資料1
河川整備計画(原案)に対する
意見への対応方針 補足資料



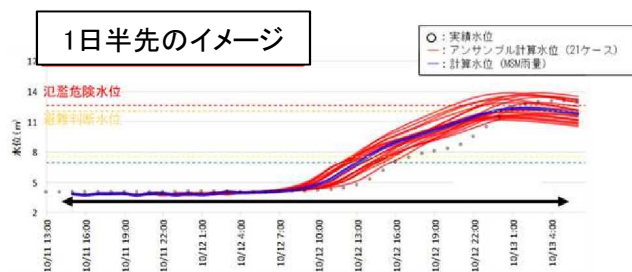
- 凡 例
-  : 計画
 -  : 河道整備実施のイメージ
 -  : 流域のあらゆる関係者による
総合的・多層的な取り組み



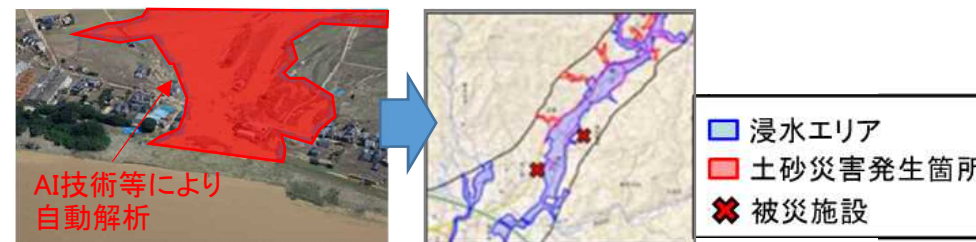
・「熊野川の総合的な治水対策協議会」や「熊野川流域治水協議会」の場を活用して、流域の関係機関が相互に連携を図り、流域全体で取り組む

危機管理体制の構築

住民の適切な避難行動の確保や水防活動の支援し、住民とのリスクコミュニケーションを向上させるため、長時間先の水位予測技術の開発やAI技術等を活用した浸水範囲の自動解析による被災状況のリアルタイムでの把握を行い、関係機関に迅速に情報共有を行う等のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進することで、危機管理体制の高度化、効率化を図る。



長時間先の水位予測イメージ



AI技術等を活用した浸水範囲の自動解析イメージ

河川管理の高度化、効率化

実施にあたっては、ライフサイクルコストの縮減を念頭に、効率的、効果的な維持管理を実施していく。三次元データを活用した地形状況等を面的に把握できる三次元管内図の作成や堤防除草の自動化への活用等の河川管理の効率化・省力化や、排水機場等の河川管理施設の監視・操作を遠隔化・自動化すること等のDXを推進することで河川管理の高度化、効率化を図る。



三次元管内図イメージ



堤防除草の自動化イメージ



河川管理施設の遠隔化イメージ
(排水機場の例)